

『レコード・マネジメント』執筆要領

2007年4月作成

2012年2月修正

2015年9月修正

学会誌編集委員会

1. 本文中の章、節、項の見出しは、ポイントシステムによって記載する。
例 第1章 → 1
第2章 第3節 → 2.3
第3章 第1節 第2項 → 3.1.2
2. 文章は原則として常用漢字と現代仮名遣いを用いる。句読点はテン（、）およびマル（。）を用いる。
3. 本文中の図書および雑誌名は、和漢書の場合は『 』に入れ、欧語の場合は下線を引く（印刷した場合イタリック体になる）。
4. 注・引用文献は一括して、本文の後に通し番号順に記載する。
5. 本文中の注・引用番号の位置は関連箇所の右肩上とし、半かっこを用いて1)、2)、3)・・・のように記載する。本文中で同一文献を二度以上引用する場合には、初出の番号を用いる。
6. 引用文献の記載方法は、『科学技術情報流通技術基準』の「参照文献の書き方」(http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm) に準拠する。その具体例を以下に示す。

〔雑誌論文〕

(1) (和文)

・江草由佳ほか. Z39.50データベース選択支援環境. 情報知識学会誌. 2001, vol. 11, no. 2, p. 1-10.

(2) (欧文)

・Cook, Terry; Schwartz, Joan M. Archives, records, and power: from (postmodern) theory to (archival) performance. Archival Science. 2002, vol. 2, no. 3/4, p. 171-185.

〔図書〕

(3) 図書の一冊を参照する場合 (和文)

・浦昭二ほか編. 情報システム学へのいざない: 人間活動と情報技術の調和を求めて. 培風館, 1998, 218p.

(4) 図書の一冊を参照する場合 (翻訳本)

・ Sunstein, Cass. インターネットは民主主義の敵か. 石川幸憲訳. 毎日新聞社, 2003, 223p.

(5) 図書の1章または一部を参照する場合

・ 高山正也. "記録管理". 図書館情報学ハンドブック. 第2版. 同書編集委員会編. 東京, 丸善, 1999, p. 37-39.

[インターネット上の文献]

(6) 和文

・ 中井万知子. 国立国会図書館におけるメタデータ記述の検討と計画. デジタル図書館. 2002, no. 22.

http://www.dl.slis.tsukuba.ac.jp/DLjournal/No_22/3-mnakai/3-mnakai.html,

(参照2007-04-30).

(7) 欧文

・ Cox, Richard J. et al. The day the world changed: implications for archival, library, and information science education. First Monday. 2001, vol. 6, no. 12.

http://www.firstmonday.org/issues/issue6_12/cox/index.html, (accessed

2007-04-30).

7. 表はその上部に第○表と表記し、標題を添える。

8. 図や写真は、その下部に第○図、写真○などと表記し、標題を添える。

9. 表、図、写真の挿入箇所を、本文中の右欄外に朱記する。

10. 論文、研究ノートは、本文冒頭に目次を記載する。

11. 引用が数行に及ぶ時は、本文との間に1行空け本分より2字インデントする。

以上